

和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業支援対象団体エントリーシート

平成26年10月29日

和泉市長 あて

団体名 三林柔道育成会

代表者名 藤原 隆寿
〒594-

所在地 和泉市池田下町

稽古場所 和泉市いぶき野

電 話

和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金の交付を受けたいので、和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業に関する要綱第5条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

記

1. 事業の名称 武道必修化による柔道ふれあい体験事業

2. 事業の概要 60年ぶりに改正された教育基本法及び学校教育法により
柔道を中高で履修することがあるため、柔道の基本動作や
技を身につけると共に、心技体の健全な発達育成するため。

3. 事業費総額 493,000円
(うち、対象経費 493,000円)

4. 交付希望額 246,500円

5. 支援対象団体と決定した場合、和泉市の後援名義を使用しますか。
(○はい ・ いいえ)

6. 添付書類

- (1) 団体概要調書（様式第2号）
- (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
- (3) 事業計画書（様式第3号）
- (4) 収支予算書（様式第4号）
- (5) その他市長が必要と認める書類

団体概要調書

フリガナ	ミバヤシジュウドウイクセイカイ		
団体名	三林柔道育成会		
団体の目的	柔道を通じて子供たちの健やかな育成に貢献するとともに、すべての年齢の柔道愛好者の自己研鑽と交流の場となり、地域の社会教育に貢献することである。		
市内事務所の所在地	〒594- 和泉市池田下町		
	【専用事務所 ☐ 住居と兼用 ・ その他（ ）】		
	電 話		FAX
フリガナ	フジワラ タカトシ		
代表者氏名	藤原 隆寿		
連絡先 ※この申請について 問い合わせをしたと きに対応できる方	(連絡責任者氏名) ※ フジワラ タカトシ		電 話
	藤原 隆寿		FAX
設 立 年 月	昭和50年10月	主な活動地域	いぶき野小学校周辺
会報等の発行	有（ 回発行） ・ 無	会員数	50人
メールアドレス			
ホームページ	http://biogs.yahoo.co.jp/mibayasijyuudouikuseikai		
主な事業内容	ボランティア活動の中で、青少年における心身の鍛練のため、礼法・基本動作・形を重視しながら乱取にも力を入れ、熱意あふれる稽古をいぶき野小学校体育館にて週3回実施し、講道館柔道の普及・振興を図ると共に青少年の精力善用なる育成に努めている。		
主な活動の実績	和泉市市民柔道大会等各種大会への参加 教室活動 出稽古 対外試合 など		
国・府・市及び 各種団体等から の他の補助金及 び委託実績 (過去3年間の 実績を記載)	年度	名称	金額(円)

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

事業計画書

申込事業の名称	武道必修化による柔道ふれあい体験事業
事業の必要性 * 別紙添付可	（事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等） ①教育基本法及び学校教育法の改正に伴い、中高武道が必修化されたことにより、多くの子ども達が柔道を学ぶこととなりますが、これまでに柔道の授業や部活動等において痛ましい事故が起きていること、また、柔道を教える教師の方も初心者が多いことなどから、今後、安全・安心に柔道を学んでいただくためには受け身などの基本動作を習得することが必要である。 ②青少年をとりまく課題として、いじめや非行が低年齢化・多様化しており、その原因として他人の痛みを感じることや、人への思いやりを持つこと、また、子ども同士のつながりが希薄化してきていることが挙げられる。 ③柔道人口が減少しており、日本古来の武道である柔道の伝承が危ぶまれている。 （申込事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果）上記のことから、従来から実施している柔道教室とは別に柔道未経験者を対象に「柔道ふれあい体験教室」を開催し、武道必修化による柔道の授業を安全・安心に受講できるよう基本動作を身につけること、また、柔道という武道を通じて、心身の力を最大限に発揮し、社会に対して善い方向に用いるという「精力善用」や相手に対し、敬い、感謝をすることで信頼し合い、助け合う心を育み、自分だけでなく他人と共に栄えある世の中にしようという「自他共栄」といった柔道特有の理念を学び、社会や周囲の人に対し心身がどうあるべきかを身につけていただく。これにより青少年の健全育成と仲間づくりなど社会性を育むことにつながり、地域に貢献できる人材づくりを行い、日本古来の武道である柔道の伝承に努める。 なお、当該事業の運営経費については、従来の事業とは、明確に差別化し、実施することで、公益性の確保に努める。
事業内容 * 別紙添付可	（主な対象者）幼児 ～ 一般 （事業実施期間）平成27年4月中旬～平成27年12月 （事業実施場所）和泉市立いぶき野小学校体育館 （問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施するのか）初心者を対象とした「柔道ふれあい体験教室」の参加者を募集し、柔道を安全に健全に実施できるよう基本動作を身につけるための講習を実施する。また、柔道を実際に体験してもらうことで武道特有の理念をはじめ礼儀、克己、遵法等の精神を養い、練習やふれあい大会等を通じて参加者や指導者等と交流することにより社会性を育み、相手を敬う心や感謝の気持ちを養うことで積極的に社会貢献できる人材育成につながる事業を実施する。 （※団体の通常練習や既存会員とは区別し実施する）

事業スケジュール	時期(月)	
	3	「柔道ふれあい体験教室」参加者を募集 (広報紙に掲載)
	4～12	いぶき野小学校体育館にて練習開始(週3回) 事業運営のために会議・準備を、練習中に、 保護者で行う。
	8	水泳体力企画にて交流会
	11 12	柔道場にて出稽古体験一日合宿 「ふれあい大会」の開催

この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

収支予算書

事業の名称： 武道必修化による柔道ふれあい体験事業

1. 【収 入】

（単位：円）

項 目	金 額	積算根拠
支援金	246,500	あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金
事業収入	45,000	保険料：1,000円×20人＝20,000円 大会参加費：500円×50人＝25,000円
自主財源	201,500	団体会計より支出
合 計	493,000	

2. 【支 出】

（単位：円）

費 目	金 額	積算根拠（数量、単価等）
報奨金	55,000	大会審判謝礼 8名×5,000円 大会参加賞 300円×50人
役務費	80,000	保険代、郵送費等
消耗品	200,000	大会用：入賞者景品・救急処置品代 チラシ：コピー用紙・インク代 その他：頭部保護用ヘッドキャップ・の ぼり旗等
食料費	8,000	大会審判弁当代8名
旅費	120,000	指導者交通費2名×500円×120日
印刷製本費	30,000	ポスター代
備品費(対象経費)		
備品費(対象外経費)		
合 計	493,000	
対象経費	493,000	

※費目は、別表（第9条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※備品費（対象経費）には備品以外の対象経費の合計を3で除した額もしくは1品あたり上限5万円で算定した備品費のいずれか低い額を記載してください。

3. その他

支援金内定額が交付希望額より少ない場合、申請事業の遂行は可能ですか。

（ ○はい ・ いいえ ）

「はい」と答えた団体のみご記入ください。

・ 申請事業の遂行のため、どのような取り組みや工夫を行いますか

営利団体でないので、毎年入会者数に応じて、保護者会を開き、今年度予算の必要経費についてお伝えし保護者会と寄付金で運営しているため、改めて保護者から寄付を募るしかない。

備考 実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。